

名養クラブデイキャンプ

日 時 平成 30 年 9 月 19 日 (日)
場 所 庄内緑地公園
報告者 L 都築 寿

2018/9/9 (日)、庄内緑地公園において、名古屋市内13の児童養護施設の子供たちを招いての継続ACT「名養クラブデイキャンプ」を後援団体として開催しました。参加者一同の熱い思いを映すかのような快晴の元、子供たちの笑顔、集まった大人たちの歓声、皆々が楽しいひと時を過ごす一日となりました。



我々名古屋シティライオンズクラブは、本部運営(受付)を中心に、カキ氷の提供を担当し、11名のメンバーで手分けをして当たりました。



開会式後からは、魔法のじゅうたん、障害物リレーの全員参加の競技には子供たちは楽しく参加しました。フリータイムでは、美容ブース、ボールや縄跳びの遊具を使って大人とのひと時を過ごすとともに、会長 L野々山の「いただきます」の挨拶に始まった昼食では、子供たちの笑顔で溢れかえりました。昼食は、昨年好評であったカレーに加え焼きそばが提供されました。



食後のカキ氷提供では、カキ氷に楽しそうに蜜をかける子供達で賑わい、予定の500人分が完食されました。

フリータイム・昼食後は、各施設の先生方による対抗リレー、サックレースが行われ、最後まで、笑顔で汗を流す大人たちと子供たちの歓喜の声で溢れていました。



157名の子供たちを、子供付き約180名・運営スタッフ約70名の250人を超える大人のサポーターで迎えることができました。今年も多数の大学生ボランティアに参加いただき、熱い想いを、次世代を担う若者に伝えることもできました。それと同時に、我々も若者から熱い刺激をもらいました。

「また来年も会おう！」と子供たちを見送りながら、施設で過ごす子供たちを取り巻く現実を考えると複雑な思いが沸き上がります。養護施設というとどんなイメージをお持ちでしょうか？交通遺児等の遺児はごくわずかで、大人（親）の都合（ネグレストや薬物の常習、DV等）で入所している子供が多数を占めます。最近、複雑な環境のせいか、発達障害とも見られる子供もいるそうです。将来は、その様な子供たちがいなくなり、参加者が集まらないというのがこのキャンプの理想です。その様な日が、いつか来ることを願いつつも、施設で過ごす子供たちがいる限り、このキャンプを続けていきたいと思いました。



《参加メンバー》

L野々山 卓朗、L浅井 薫、L石垣 健治、L今岡 健一、L大野 真義、L鬼頭 尚司、
L鬼頭 幸子、L近藤 鉄雄、L佐藤 真砂忠、L新田 祐士、L都築 寿、